



小中合同引き渡し訓練を行いました

9月28日（木）、東日本大震災以降、恒例となった引き渡し訓練を行いました。今まで訓練の日は、毎年、好天に恵まれていましたが、この日は雨で小学校のグラウンドがぬかるみ、車の往来が困難となりました。そこで、従来のルートを一変変更して実施しました。小中の先生方、そして、保護者の方々も変更に対して柔軟に対応し、約1時間で引き渡しを無事に終えることができました。今後、冬期間や荒天の場合の実施方法、災害等の事案のケースによる実施方法など、また、地域の方々の支援を仰ぐ方法等について、子どもの安全を最優先に考えた方法・在り方を検討していきたいと思っております。



まずは、小中学校で最も丈夫な建物である小学校の体育館に避難し、保護者のお迎えを待ちました。

「石小まつり」に中学校音楽部が参加



ハンドベルの演奏も披露しました

10月1日（日）、川村幸恵先生率いる中学校音楽部が「石小まつり」（バザー）のアトラクションとして参加し、日頃の練習の成果を披露しました。映画音楽、アニメソングなどを演奏し、場内の方々からたくさんの拍手をいただきました。



「ひろさき見学」を行っています



地域の竹村氏指導によるりんご園での観察（9/21・小3）



平川の水生物についての調査活動。平川に住む生物がわかりました。（9/5・小5・6）



文化財保護課の事業「文化財マップづくり」の活動。大仏公園、石川八幡宮、乳井茶臼館、乳井神社板碑などを見学し、石川・乳井地区の歴史を学びました。（9/29・小6）



地域の成田氏・乳井みどり保全会の皆様の指導による稲刈り。2月の公民館まつり「ペタンコまつり」で餅つきをしていただきます。（9/27・小5）

「盛岡社会体験・宿泊研修」の事前学習として「岩木山と岩手山」「城下町弘前と盛岡」をクイズ形式で学びました。（10/4・中2）



「チャレンジ記」にチャレンジ



6年



10月6日(金)、郷土・弘前を大好きになるためのきっかけづくりを目的に、弘前市教育委員会が主催する「チャレンジ記」(弘前に関するクイズ形式の問題、30題)に小学校6年生、中学校1・2・3年生が挑戦しました。(小学校も中学校も同じ問題です。)出題された問題をいくつか紹介しますので、チャレンジしてみてください。

○りんごに関すること

りんごの苗木を配布し、自分たちで作れるようにして、青森県がりんごの生産地になる基礎をつくった人は誰でしょう？

- ①菊池楯衛 ②外崎嘉七 ③對馬竹五郎 ④斉藤昌美



中1



○ねぷたに関すること

国の文化財の指定を受けている弘前ねぷたは、次のどれでしょう？

- ①重要有形民族文化財 ②重要無形民族文化財
③特別天然記念物 ④重要無形文化財



○桜に関すること

弘前市では、桜の管理にりんごと同じ方法を取り入れています。それでは、弘前公園に咲き誇る桜は、りんごと同じ何科の植物でしょう？

- ①バラ科 ②グミ科 ③アサ科 ④ニレ科



中2



○弘前城に関すること

弘前城は慶長16年(1611年)に完成しました。その弘前城の建築を進めた人は誰でしょう？

- ①津軽為信 ②津軽信枚 ③津軽信義 ④津軽信政

○建築に関すること

弘前市役所庁舎、弘前市民会館、弘前市立博物館などは、有名な近代建築家による建築物です。それは誰でしょう？

- ①坂倉準三 ②吉坂隆正 ③前川國夫 ④吉村順三

中3



○伝統工芸品に関すること

津軽の農村の女性が、着物を温かく、また、丈夫にするため、麻の布地の所どころに木綿糸で刺子を施したことで生まれた技法は何でしょう？

- ①もめん刺し ②こぎん刺し ③つがる刺し ④ひし形刺し

○弘前市の歴史に関すること

弘前藩の2代藩主、津軽信枚は城下町「高岡」を建設し、1628年に「高岡」の名称を今の「弘前」に改称しました。その信枚の奥さんである「満天姫」の父親は有名な武将です。この有名な武将とは誰でしょう？

- ①豊臣秀吉 ②真田幸村 ③伊達政宗 ④徳川家康



○人物に関すること

弘前市出身で日本の柔道を広く世界に紹介しながら、各国のボクサーやレスラーたちから他流試合を申し込まれて対戦し、1度も負けなかった前田光世。さて、その前田光世はスペインで特別な呼び名を贈られました。それは次のどれでしょう？

- ①ヨンデ・コマ ②コンデ・コマ ③ナンダ・コマ ④ソング・コマ

※実際の問題にはふりがなが付いています。